EU Indicators

欧州経済指標コメント：２月英国消費者物価

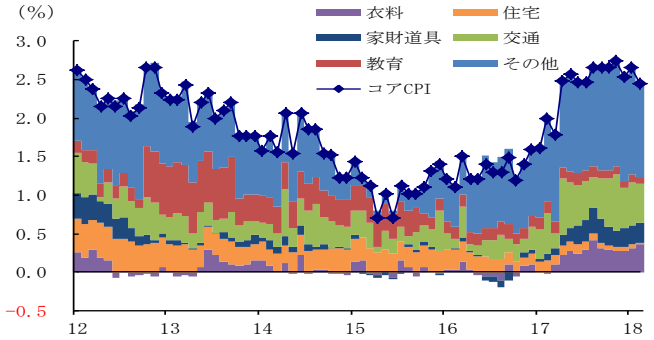
発表日：2018年3月20日（火）

～３％割れも警戒は解けない～

第一生命経済研究所　経済調査部
主席エコノミスト　田中　理
03-5221-4527

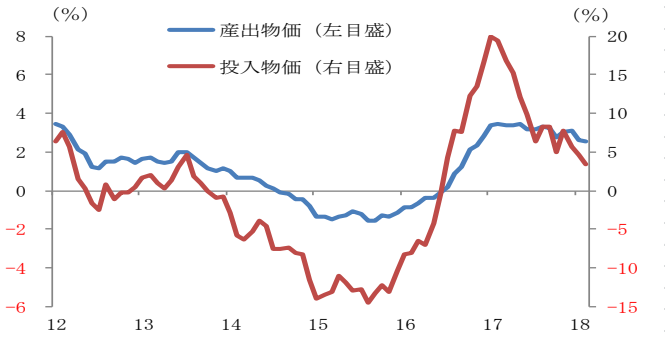
- ２月の英国の消費者物価は前年比＋2.7％と前月の同＋3.0％から大きく鈍化した。内訳は、アルコール飲料（同＋2.1％→同＋3.2％）の上昇率が加速した一方、後述のコア物価（同＋2.7％→同＋2.4％）、昨年同時期の寒波の反動による食料品（同＋3.7％→同＋3.0％）、たばこ（同＋8.3％→同＋7.8％）、エネルギー（同＋4.2％→同＋3.6％）が揃って鈍化。エネルギーの内訳では、住宅用燃料が同＋6.4％で前月から不変の一方、自動車燃料（同＋2.1％→同＋0.8％）が大きく鈍化した。
- コア物価は前年同月の“裏”（昨年１月：同＋1.6％→昨年２月：同＋2.0％と断層）により今月は前年比計数が低めに出やすかったことも影響。１月の前年比と比べて下振れが目立ったのは、食器（同＋2.6％→同＋0.1％）、家財修繕（同＋1.6％→同＋1.1％）、医薬品（同＋2.2％→同＋1.7％）、輸送サービス（同＋5.1％→同＋3.9％）、電話（同＋1.2％→同▲0.4％）、オーディオ機器（同▲0.6％→同▲2.5％）、宿泊（同＋3.2％→同＋0.9％）など。
- 来月はコア物価が今月に比べて高めに出やすい一方、食料、アルコール飲料、たばこが揃って低めに出やすい。ヘッドライン計数は小幅再加速が予想されるものの、同＋３％台には届かない見通しで、物価はピークアウト傾向にある。なお、昨年はイースター休暇時期が例年の３月から４月に後ズレしたため、向こう数ヶ月の旅行関連費目の前年比計数がボラタイルとなる可能性がある点に注意。

■英国：コア消費者物価の要因分解（前年比）



出所：英統計局

■英国：生産者物価の推移（前年比）



出所：英統計局

■英国の消費者物価（%）

		2017 1Q	2Q	3Q	4Q	2017 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018 1月	2月
消費者物価	（前期比）	0.5	1.1	0.5	0.8	0.0	-0.1	0.6	0.3	0.1	0.4	0.3	-0.5	0.5
	（前年比）	2.2	2.8	2.8	3.0	2.6	2.6	2.9	3.0	3.0	3.1	3.0	3.0	2.7
コア消費者物価	（前年比）	1.8	2.5	2.6	2.6	2.5	2.5	2.7	2.6	2.6	2.7	2.5	2.7	2.4
食料品	（前年比）	0.3	1.9	2.6	4.0	2.3	2.6	2.2	3.0	3.9	4.0	4.0	3.7	3.0
アルコール	（前年比）	0.4	2.8	3.3	3.0	3.5	3.6	3.7	2.7	2.9	3.4	2.8	2.1	3.2
たばこ	（前年比）	5.6	6.1	5.5	6.3	6.1	6.0	4.9	5.5	5.4	5.3	8.1	8.3	7.8
エネルギー	（前年比）	8.4	5.7	4.9	5.1	4.3	3.8	5.3	5.7	4.7	5.0	5.6	4.2	3.6
住宅用燃料	（前年比）	-0.1	3.8	5.2	6.2	4.2	5.1	5.3	5.2	6.0	6.4	6.3	6.4	6.4
自動車燃料	（前年比）	17.8	7.6	4.4	3.9	4.0	2.0	5.2	6.1	3.3	3.5	4.8	2.1	0.8

注：消費者物価の前期比は季節調整前。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所：英統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。